

## 基本理念及び基本方針

### 基本理念

#### 次世代へつなげる循環型都市“こうべ”

これまでのごみ減量成果を踏まえ、今後も市民・事業者の理解・協力を得ながらごみの減量及び資源化に取り組んでいきます。あわせてごみに関して多くの人の意識・関心を高めることにより、親から子、子から孫の世代へ息長くつないでいきます。そして、目指すべきまちの姿として、ごみとなるものが減り、排出ルールがきちんと守られ、資源として再利用されるものが正しく分別された環境にやさしい循環型都市“こうべ”の実現を目指し、恵み豊かな社会づくりに貢献していきます。

### 基本方針

循環型都市“こうべ”の実現に向け、3つの方針を掲げ、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながらさまざまな施策を展開していきます。

#### 1 無駄をなくし、ごみをできるだけ出さない暮らしの確立（2Rの推進）

ものを大切に使い、できるだけごみを出さない意識を醸成していくことによって、これまでよりごみの発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）が優先された暮らしを確立します。

そのために、市民は包装材が少ない商品の選択や食材を多く買すぎないなど無駄なものを出さないための計画的な購入や消費に努め、できるだけものを長く使い続けるなどごみを出さない工夫をしていきます。

事業者は、ごみができるだけ発生しない商品づくりや販売方法を工夫していくとともに、マイボトルの利用によるポイントや割引など利用者にインセンティブを与える仕掛けや、食べきり運動の協力などをおこないます。

行政は、リデュースの実践方法や取り組みの効果など2Rに関する情報などをできるだけわかりやすく示し市民・事業者に対し啓発するとともに、コーディネーターとしての役割を果たしていきます。

#### 2 効率的で適正な処理に向けた排出・分別ルールの徹底

地域住民と行政との連携による排出・分別ルールの徹底により、リサイクルの推進とごみの効率的で適正な処理を目指します。また、今後ますます深刻化していく高齢化の課題に対応していきます。

そのために、市民は排出・分別ルールを理解し、資源化に努めるとともに、地域で実施している資源集団回収活動へ積極的に参加します。また、ごみ出しが難しい高齢者に対しては声をかけあいごみ出しの協力をするなど地域住民同士で助け合います。

事業者は排出・分別ルールを理解し、順守するとともに民間リサイクルルートを積極的に活用するなど資源化に努めます。

行政は排出ルールや分別基準の明確化を図りながら市民・事業者の理解度、順守度を高めていくとともに、地域住民だけでは対応が難しいごみ出しの支援や排出指導を行います。また、環境負荷やコストをできるだけ減らすためにクリーンセンターおよび中継施設を効率的に使用した処理を行っていきます。

### 3 若者から高齢者まで幅広い市民や全ての事業者にいきわたる情報発信と行動の展開

市民はごみに関する知識や環境に関する情報について、市の広報紙やルールブックだけでなく、インターネットなどを通じて情報を入手するなど、広く関心を持ちます。また、環境啓発イベント、環境学習講座やまちの清掃美化活動など地域の活動にも積極的に参加していきます。

事業者はごみの排出を直接行う従業員に対してごみの減量や分別、処理に関するコストなどについて啓発・教育に取り組みます。さらに、ルール徹底が難しいテナントビル入居者や共同住宅入居者に対し、管理者が積極的に指導・助言を行っていきます。

行政は、ごみや資源に関する情報を今後も継続的に発信していくとともに、子どもやその親に対し環境教育を行い、次の世代に向けた環境にやさしい社会づくりをおこなっていきます。特に課題となっている、ごみに対して関心が低い若い世代や分別の対応が難しい高齢者でもわかりやすい排出・分別ルールの周知に努めます。さらに、ルール徹底が難しい共同住宅入居者、店舗付き住宅入居者などに対しても、啓発や指導を積極的に行っていきます。また、大規模事業所への指導だけでなく、中小規模事業所、テナントビル入居者、ごみの排出を直接行う従業員などに対しても減量や資源化の促進につながる情報を発信していきます。

#### 施策展開の基本的考え方

施策の展開にあたっては、誰でも気軽に取り組み、効果がわかりやすい方法で実施していきます。また、継続的な啓発とともに、神戸の特性を生かしたデザインの工夫により市民・事業者の取組意識を高めていきます。

